

令和6年度 入学試験（一般 第3回）問題

国 語

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

○ 指示があるまで開かないこと。

令和6年2月10日(土) 9時00分 ～ 9時45分

【注意事項】

- 1 試験問題の数は25問です。
- 2 問題用紙及び解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入してください。
解答用紙はマークシートと記述解答用紙の2枚あります。下記の記入例をみて記入してください。
- 3 解答は、指示に従いすべて解答用紙にマークしてください。問題用紙に記載しても無効です。
なお、マークシートの解答用紙には解答欄が50問までありますが、25問以降にマークしても無効です。
- 4 試験問題は四－【22】以外すべて5つの選択肢があります。質問に適した選択肢を選び、その番号を解答用紙にマークしてください。2つ以上マークした場合は無効となります。
なお、試験問題の四－【22】については、記述解答用紙の問25に記入してください。

【解答用紙マークシート記入例】

フリガナ	セイ トウ ハナ コ	年	月	日	国語
氏 名	聖 灯 花 子	6	2	10	

〔受験番号記入例〕

番 号									
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9

問	解 答 欄
1	① ② ③ ④ ⑤
2	① ② ③ ④ ⑤
3	① ② ③ ④ ⑤

問	解 答 欄
11	① ② ③ ④ ⑤
12	① ② ③ ④ ⑤
13	① ② ③ ④ ⑤

マーク例	
良い例	悪い例
●	✓ ○ ●

※番号欄には、右づめで受験番号を記入し、該当部分の数字をマークしてください。

【記述解答用紙記入例】

受験番号
32001
氏 名
聖 灯 花 子
評 定

令和六年度 入学試験（一般 第三回）問題（国語）

一次の文章を読んで、後の【1】～【8】に答えなさい。

ヒトをヒトたらしめたのは疑いもなく言葉である。さらにヒトはその言葉を発展させて文化をつくり出した。こうしてヒトは「言葉にのせて文化を伝える」という遺伝外の情報伝達に成功した。これに加えてヒトは文字を発明することで、それまでの聴覚にたよった伝達（＝話し言葉）の致命的な弱点であった伝達の瞬間性を永続性のあるものに変えた。当然、文字による遺伝外情報は重視され、尊敬された。いつてみれば活字がスウハイされていた。――これが敗戦当時の日本語の状況だった。

㊦ 敗戦の衝撃や戦前戦中の日本精神の過度の押しつけへの反感から、「非合理的な日本語を捨ててフランス語を国語に採用せよ」と唱える人たちも少なくなかった。占領軍の一部には「日本語はそのままよいが、文字が非能率的すぎる。仮名や漢字を廃してローマ字を使わせてはどうか」という意見もあり、これに賛意をあらわす人たちもまた少なくなかった。しかしこれらの考えは日本語や日本語の表記法への不信や不満ではあっても、言葉そのものに向けられたものではない。日本語よりもっとすぐれた言葉があるはずだという信仰がその底にひそんでいた。つまり文字による遺伝外情報を重視し、尊敬すればこそ、日本語への不信であり不満であったのである。もっとも異国語の国語採用案や日本語表記のローマ字化はやがて沙汰(a)となり、昭和二十一年の四月ごろまでにはおさまったが、すぐに国語改革がはじまった。そして四十年近い歳月がたった。

いま、日本語は簡略化し、単一化し、単純化しつつある。ひとことでいえば、均質の平べったいものになりつつある。方言の使用量は激減している。その地方にしかない事物や習慣や生活感情を表現しようとすれば、その地方にしかない言葉が必要となる。そこに方言が成立していたわけだが、大量生産――大量消費という物流の巨大な網が全国を覆ってしまい、㊦「その地方にしかないもの」は少なくなった。方言が存在しにくくなったのである。また、平等意識の表面的な普及と中流意識の幻想とが待遇表現（敬語）を衰退させている。同じことが差別語についてにもいえるだろう。もちろん差別そのものが消滅したわけではないが、それは見えにくくなり、社会の底層をこっそりと陰気に流れるようになった。

そして社会の上っ面では新造の、急造の差異をつける言い方が氾濫している。いわく「ダサイ」「ネクラ」「イモ」「トラ（ディショナル・伝統派）」……。これらの差異をつける言い方は猛烈な速度で変わって行き、その速度に幻惑されてほんものの差別が見えなくなっている。そのほかカタカナがふえて漢字が減り、若い世代はみな似たような丸っこい字を書き、文章は広告コピーの影響か息が短い。――といったようなわけで、たしかにこの四十年間に日本語は単純化し、均質化している。社会の構造が球型（あるいは梯形）から平べったくなって凸レンズ型に変わったのを、日本語が忠実に映しているのである。

なかでも文字の衰運は(b)、文字による情報は、その王座を映像による情報に明け渡した観がある。文字がどれほど軽んじられているかは近ごろの商品の命名法にもよく現れている。ながいあいだ、企業は「真面目で、それでいて魅力があって、できれば永続して売れるものを」とねがって商品に命名していた。十かそこいらの文字に社運を賭け、またそれぞれ社の良識をも賭けていたのである。しかしいまはどうか。たとえば「佐藤くん」「鈴木くん」「さすがの明智くん」（いずれも菓子）など人名を商品名に使っている。今日の商品が、大氾濫のせいで、すべて均質になりアウラ（霊気・雰囲気）を消失してしまっている。そのアウラを出すために人名という人懐かしいものを持ってきたのだという指摘もあるが、筆者には、各企業に「他の商品よりすこしでも目立つなら、名前などどんなにメチャクチャでもよろしい」とする思い切った言語道具説が支配しはじめているように見える。

遺伝外情報としての言葉の値打ちの下落、そして映像への熱狂的な支持。これらを用意したものの代表はテレビであったろう。たしかにテレビは時間と空間と記号の束縛から情報を解き放った。事件が発生する。その模様は、あっという間に（時間の束縛からの解放）、どこでも（空間）、たとえ字の読めない人にも（記号）わかる。ところが文字による情報伝達には、執筆・印刷・製本に時間がかかり、流通手段なしではどこへも届かず、記号が解読できなければ情報を受容できないという制限がある。映像が時代の*になるのは当然かもしれない。

さらにわれわれは歴史を直線とみなし、進化論を是としている。この論法でゆけば、つねに「いま」が歴史の頂点であるから、つねに「いま」が最良の時代で、つねに「新しいもの」が正しいという見方が生まれる。この見方が新しく登場した遺伝外情報媒介手段である映像をもてやしもしたのだろう。だが、映像への過度の信仰が、思考や経験を伝える新しい智恵を生み出す「学び、考えるための言葉」の衰えにつながらなければ幸いである。言葉には欲求を伝える道具としてのほかに、この〈学び、考えるためのほたらき〉がある。だれかがだれかに「死ねっ」と罵声を放つとき、また事物を見ても「うっそ」「ほんと」「かわゆーい」としか言えないとき、言葉は道具の役割しか果たさない。もっといえば、相手からの情報を感じる能力に欠け、自分から相手に向かうだけの粗末で尊大な情報しかないとき、ヒトは粗末で尊大な

***でしかなくなるのである。

ところで映像による情報は次の二つの理由で、まだまだ文字による情報には及ばないところがあると思われる。たとえば、「細胞内小器官―細胞―組織―器官―器官系―個体―集団―社会―生態系―地球……」という生物の階層構造は、これからますます重要になる概念であると信じるが、こういった大切な情報を映像だけで表現しようとしても、それはほとんど不可能である。「会社」「国家」「制度」といった概念もまた映像では表現できない。次に、文字による遺伝外情報は膨大であるのに、歴史の浅い映像ではまだその情報量は少ない。

生命の目的は「存続すること」にある。ヒトなら長生きすること、人類なら絶滅しないこと。われわれはそのために、ほとんど無限に近い、文字による遺伝外情報を持っている。加えてわれわれには〈学び、考えるための言葉〉がある。この二つを活用しない手はない。映像による情報伝達のたすけを借りながらも、どれだけ言語に関しては保守的になれるか、過去の遺産を再生できるか。そこに未来がかかっていると、わたしは信じている。

(井上ひさし『日本語』)

【1】 傍線部◇の漢字として正しいものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問1】

- ① ◇ ① 崇俳 ② 枢拝 ③ 崇杯 ④ 崇拜 ⑤ 崇輩

【2】 傍線部◆の漢字の正しい読みを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問2】

- ② ◆ ① はしごかた ② ていけい ③ ていかた ④ ていぎょう ⑤ はしごけい

【3】 空欄㊦に該当する語を、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問3 4】

- ③ ㊦ ① もとより ② そもそも ③ かねがね ④ とにかく ⑤ いつぞや
④ ㊦ ① ついに ② やがて ③ いまや ④ あげく ⑤ いつか

【4】 二重傍線部「沙汰」に続く(a)として正しいものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問5】

- ⑤ ① やみ ② じまい ③ どめ ④ もどし ⑤ ずみ

【5】 二重傍線部「衰運は」に続く(b)として正しいものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問6】

- ⑥ ① ものものしく ② かまびすしく ③ たけだけしく ④ いちじるしく ⑤ おびただしく

【6】 空欄*と**に該当する語を、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問78】

- | | | | | | | |
|---|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 7 | * | ①愛児 | ②遺児 | ③寵児 | ④豚児 | ⑤健児 |
| 8 | ** | ①ファシスト | ②エゴイスト | ③レイシスト | ④ナルシスト | ⑤パネリスト |

【7】 この文章の作者・井上ひさしの作品として正しくないものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問9】

- | | | | | | |
|---|---------|---------|----------|--------------|----------|
| 9 | ①『手鎖心中』 | ②『敷原検校』 | ③『吉里吉里人』 | ④『イサムよりよろしく』 | ⑤『火垂るの墓』 |
|---|---------|---------|----------|--------------|----------|

【8】 筆者は波線部で、読者に何を伝えたかったのか。筆者の思いとしてふさわしいものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問10】

- | | |
|----|--|
| 10 | ①自身の長生きと人類の存続のためには、文字と言葉の有効活用が不可避だと再認識した、という思い。
②文字と言葉の大切さを噛みしめ、映像の利点をも考慮しつつその維持と発展に努めねば、という思い。
③急拡大する映像による情報伝達に積極的に対峙し、文字と言葉の利点をさらに追究すべき、という思い。
④先人たちによって守られてきた文字と言葉への尊敬の念を、今、絶やすわけにはいかない、という思い。
⑤映像による情報伝達に対し、文字と言語の本質的・伝統的な要素を前面に出すことも必要、という思い。 |
|----|--|

二次の9～13の対義語・反対語としてふさわしいものを、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【9】 「違反」【解答欄は問11】

- | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 11 | ①鎮守 | ②保守 | ③遵守 | ④死守 | ⑤嚴守 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|

【10】 「沈黙」【解答欄は問12】

- | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 12 | ①口軽 | ②弁舌 | ③多弁 | ④滑舌 | ⑤雄弁 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|

【11】 「賢明」【解答欄は問13】

- | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 13 | ①不明 | ②無知 | ③鈍感 | ④暗愚 | ⑤輕薄 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|

【12】 「悪徳」【解答欄は問14】

- | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 14 | ①美德 | ②恩徳 | ③良徳 | ④温徳 | ⑤善徳 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|

【13】 「昂揚」【解答欄は問15】

- | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 15 | ①失望 | ②落胆 | ③失意 | ④呆然 | ⑤絶望 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|

三次の【14】～【18】のなかで、他の四つとは明らかに異なる時代に執筆・編さんされた作品を、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【14】
【解答欄は問16】

- 16
- | | | |
|------------------|------------------|--------------|
| ① 『方丈記』 鴨長明 | ② 『国性爺合戦』 近松門左衛門 | ③ 『徒然草』 吉田兼好 |
| ④ 『宇治拾遺物語』 編著者未詳 | ⑤ 『古今著聞集』 橘成季 | |

【15】
【解答欄は問17】

- 17
- | | | |
|----------------|-------------|---------------------------------|
| ① 『みだれ髪』 与謝野晶子 | ② 『蒲団』 田山花袋 | ③ 『木乃伊 ^{ミイラ} の口紅』 田村俊子 |
| ④ 『群棲』 黒井千次 | ⑤ 『高野聖』 泉鏡花 | |

【16】
【解答欄は問18】

- 18
- | | | |
|------------------|----------------|-------------|
| ① 『赤い蠟燭と人魚』 小川未明 | ② 『正太の馬』 坪田譲治 | ③ 『リズム』 森絵都 |
| ④ 『二十四の瞳』 壺井栄 | ⑤ 『泣いた赤鬼』 浜田廣介 | |

【17】
【解答欄は問19】

- 19
- | | | |
|--------------------------------|-----------------------|-------------------|
| ① 『高慢と偏見』 ジェーン・オースティン | ② 『赤と黒』 スタンダール | ③ 『嵐が丘』 エミリー・ブロンテ |
| ④ 『デイヴィッド・コパフィールド』 チャールズ・ディケンズ | ⑤ 『リア王』 ウィリアム・シェイクスピア | |

【18】
【解答欄は問20】

- 20
- | | | |
|------------------------|-----------------------|-------------------|
| ① 『としょかねずみ』 ダニエル・カーク | ② 『ラプンツェル』 グリム兄弟 | ③ 『フランダースの犬』 ウィーダ |
| ④ 『不思議の国のアリス』 ルイス・キャロル | ⑤ 『宝島』 ロバート・L・ステイヴンソン | |

四 次の文章を読んで、後の【19】～【22】に答えなさい。

「……住みはてぬ世に、醜きすがたを待ちえて何かはせん。命長ければ恥おほし。長くとも四十路にたらぬほどにて死なんこそ、めやすかるべけれ……」

『徒然草』のこの章をはじめて読んだのは、たしか十五——なんとなく感傷的な年ごろだった。へほんとにそうね、私は三十すぎたら死にたい……」などと、夜更けてひとり冷たい床の中で涙ぐんだりしたのをおぼえている。

そして、いま——久しぶりでその【*】を読み返している私は……もう七十の半ばになろうとしている。

へしかたがないわ、世の中が変わったのだからそのころと違って、現代は栄養もかなり行き届いているし、冷暖房も普及している。進歩した医療、あふれる新薬のおかげで、この国は世界有数の長寿国になったのだから……。

しかし——長生きしすぎた人たちへの兼好法師の戒めだけは、忘れてはいない。

「……そのほど過ぎぬれば……ひたすら世を貪る心のみ深く、物のあはれも知らずなり行くなんあさましき」

俗に言う死に欲である。いい齡としをして、ひたすら権力やお金にしがみつくと人は、いつの世にも絶えない。長生きはしたいけれど、あんな恥はかきたくない——とため息が出る。

むかし、浅草の親たちは「みっともないことだけはするな」と口癖のように子供に言った。例えば、お金が欲しいために嘘をつくな、とか、自分がいい子になるために友達を裏切るな——など、ごく当たり前のことのように、実はなかなか守りにくいことが多かった。人間には、つい、そんなことをしてしまう弱さがある、ということであの大人たちは経験で知っていたのだろう。そういうしつけは相当きびしかった。

玄関の壁をなおしにきた親方が、若い衆を青筋【◆】怒鳴りつけるのを、小娘の私はびっくりして見ていたことがある。

「手前みたいな奴は豆腐の角にあたま打っつけて死んじまえ」

下町では、ごく簡単に出来るようなことを失敗すると、先輩たちにこう言っただけののしられた。そのときションボリしていた若いもんは、自分の失敗を、弟分のせいにしたのがばれたらしかった。

「恥を知れ、恥を……」

怒っている親方の顔は、いかにも情けなさそうに見えた。

働きもののその人たちは、老醜や貧乏を、格別、恥とは思っていなかった。一所懸命やったけれど、こうなったのだから仕方がない、と割り切っていたのだろう。そんなことより、みっともないのは心の行儀の悪さだ、と固く信じこんでいたようである。

近ごろ、社会の進化につれて、恥の中身が違ってきたのだろうか。私など、ときどきとまどってしまう。早い話が——人間同士、差をつけるなど、とんでもない恥さらし、と思っているのに、立派な奥さまが、

「うちのボクちゃん、やっとほかの子と差をつけることが出来ましたのよ」

などと誇らしげなのは——どういうことなのかしら。へ大体、偏差値なんでものがおかしいのよ」と、自分も子も孫もない癖に文句を言う私も——すこしおかしいけれど……。

それにしてもこの【**】は、心の行儀の悪い人が多すぎると思いませんか？へ恥を知らない人は何でも出来るのね」などと、ついまた余計なことを口走って……反省しています。

（沢村貞子『恥を知る』）

▽一部、表現を変更した箇所がありますⅡ出題者

【19】 二重傍線部「青筋」に続く◆として正しいものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

21

◆ ①引いて

②立てて

③巻いて

④出して

⑤割いて

【解答欄は問21】

【20】 空欄*と*＊に該当する語を、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問2223】

- | | | | | | | |
|----|----|------|------|------|------|------|
| 22 | * | ①しまつ | ②つづり | ③ゆくえ | ④くだり | ⑤ながれ |
| 23 | *＊ | ①代 | ②世 | ③節 | ④季 | ⑤時 |

【21】 この文章の作者・沢村貞子の作品として正しくないものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問24】

- | | | | |
|----|------------|-------------|------------|
| 24 | ①『わたしの三面鏡』 | ②『私の浅草』 | ③『わたしの茶の間』 |
| | ④『私の台所』 | ⑤『わたしの渡世日記』 | |

【22】 筆者は波線部で、読者に何を伝えたかったのか。筆者の思いを五十字で述べなさい。

【解答欄は記述解答用紙問25】

25 記述解答用紙へ

令和六年度 入学試験（一般 第三回） 解答用紙（国語）

受験番号
氏　名
評　定

問
25

[illegible]